

事業番号	15 09 04	事業改善シート (28年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	運動部活動支援事業費		担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3 豊かな心と健やかな身体の育成	課・局・室	スポーツ課		
	施策の総合的展開		E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針		実施期間	H13 ~		
	施策展開					

1 事業の概要

目指す姿	中学校、高等学校の運動部に専門的な指導者を派遣したり、運動部活動指導者の指導力向上を目的とした研修会の開催により、適切で効果的な運動部活動が実施されることは競技力の向上につながり、ひいては、本県の中学校、高等学校の生徒の体力が向上すると共に、生涯にわたってスポーツに親しむ資質が育成される。										
現状 (予算編成時)	○外部人材による高等学校運動部活動支援事業においては、専門的な指導者の派遣によって生徒の技能向上が図られている。 ○本県の運動部活動顧問においては、担当競技種目の経験がない教職員は中学校で6割、高等学校で5割に及び、指導力向上を図る研修が必要である。また、発育発達期にあるジュニア期のスポーツ外傷・障害予防は、生涯スポーツの観点から見ても重要であり、専門的な支援が必要である。										
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育の一環の運動部活動が適切に実施されるよう、国庫委託金(スポーツ庁)を有効活用しながら実施することが効果的である。									
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)										
	○「体力合計点」について、50.6点以上とする。(H29までに51点台とするために、基準年(H24)から概ね0.3ポイントずつ毎年上昇) ○「体力合計点」の全国順位を、10位台とする。(H29に10位台とすることを目指しているが、H27に19位となったため、H28も10位台を目標とする) ○「国民体育大会(少年)・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会」の入賞者数を、195人・団体とする。(H29までに200人・団体とするために、基準年(H24)から概ね5人・団体ずつ毎年上昇)										
	② 事業内容 (単位:千円)										
		項目	実施方法	H28事業実績		H28	H29				
				(当初)	(決算)	(当初)					
	外部人材による高等学校運動部活動支援事業	直接	専門的な指導者が不足する高等学校の運動部活動へ外部指導者または研修会講師等を72校に派遣した。	6,151	6,151	4,998					
	運動部活動の工夫・改善支援事業	直接	運動部活動指導者を対象とした研修会の開催。及びアスレティック・トレーナーやトップアスリート等の指導者を派遣した。	2,908	2,145	1,157					
			合計	9,059	8,296	6,155					
事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越			項目	H26末	H27末	H28		H29	
		当初予算	6,713	9,059				目標	成果		達成状況
		補正予算			体力合計点	49.4点	50.1点	50.6点	50.1点	未達成	51点台
		合計(A)	6,713	9,059				6,155	6,155	未達成	10位台
	Aの財源	一般財源	4,924	5,886	体力合計点の全国順位	27位	19位	10位台	23位	未達成	10位台
		県債			国民体育大会(少年)・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の入賞者数	191人・団体	211人・団体	195人・団体	213人・団体	達成	213人・団体
		国庫支出金	1,789	3,173							
		その他	0	0							
	決算額(B)	6,372	8,296								
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00								
	概算人件費(C)	16,552	15,828								
概算事業費(B(A)+C)	22,924	24,124	21,983								

目標に対する成果の状況	体力合計点は、昨年に引き続き目標値に僅かに及ばなかった。また、全国順位は、昨年の19位から順位を下げた。これは、小学校男子、中学校男子では高得点者の割合が全国平均よりも多いものの、中学校女子では低得点者の割合が全国平均よりも多いことによると考えられる。さらに、全国平均が201点台と大きく向上したのに対して、本県は現状維持であったため、23位という結果となった。ジュニア入賞者については、国体での入賞数が減った一方で、中体連・高体連主催の大会の入賞数が昨年より大幅増となり、目標を上回っている。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	子どもの体力向上や運動好きの子どもを育てるために運動部活動は重要な役割を果たしており、「長野県中学生期のスポーツ活動指針」策定後、各市町村、学校区で運動部活動が適切で効果的に実施されるよう改善を図り、方向性を模索する中、スポーツ医科学等の知見に基づく指導がさらに普及されるよう、本事業の拡充を図る必要がある。